つながる ひろがる 命の輪
生物多様性さっぽろ

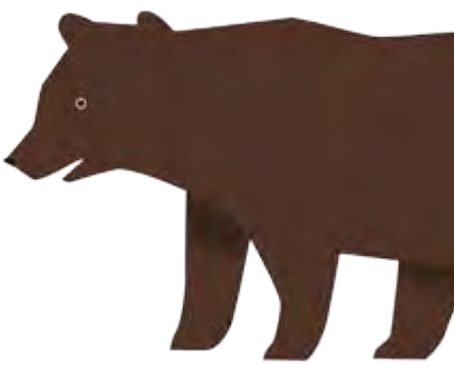
令和4年度

札幌市 生物多様性レポート

Biodiversity
Report
in Sapporo-city

目 次

生物多様性さっぽろビジョンの概要 ・・・・ 2
札幌市の取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
生物多様性 Q&A ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
生物多様性さっぽろビジョンの進行管理 8
目標値に対する評価 ・・・・・・・・・・・・・・・ 8
今後の取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8



札 幌 市

札幌市は、平成25年3月に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、深刻な地球環境問題となっている生物多様性の保全のため、様々な取組を進めています。
札幌市生物多様性レポートでは、令和3年度の取組について報告します。

生物多様性さっぽろビジョンの概要

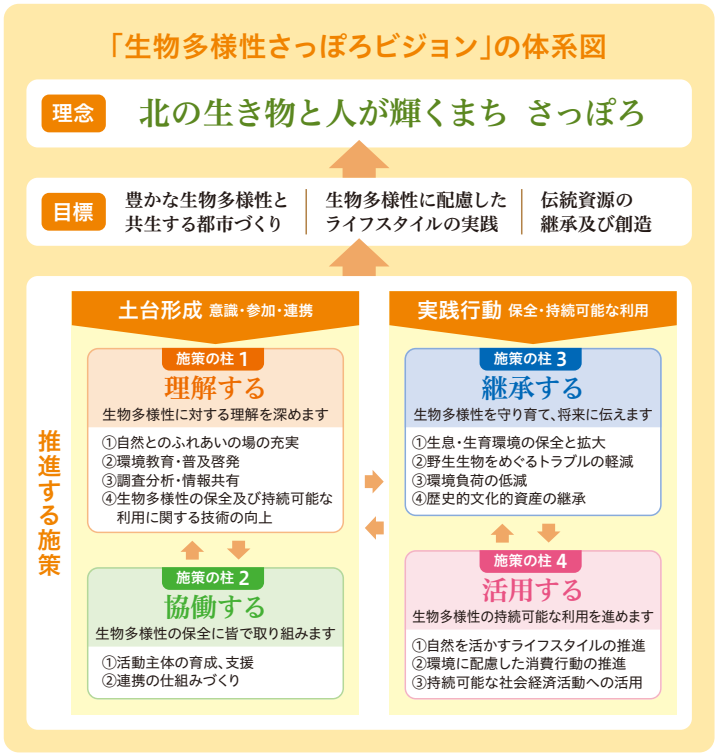
私たちが暮らす札幌市では、これまで6,000種以上の動植物が記録されており、生き物同士は、食べたり、食べられたり、競争したり、助け合ったりして、互いに関係しながら複雑につながりあって生きています。

このように様々な生き物が存在し、それぞれがつながりあっている状態を表すのが「生物多様性」という言葉です。この生物多様性の喪失は、世界中の生物多様性に依存している私たちの暮らしに大きな影響を与えます。

市内には、絶滅のおそれのある野生生物のリストである「札幌市版レッドリスト」(※1)に掲載されている生き物が297種生息しており、都市化に伴う生息・生育環境の縮小、気候変動、外来種(※2)の影響等により、そういった希少な生き物への影響が懸念されています。

そのため、札幌市では生物多様性の保全に関する取組の方向性を示す長期的な指針として「生物多様性さっぽろビジョン」を策定し、体系的・総合的な施策の推進を図っています。

ビジョンに掲げる「北の生き物と人が輝くまち　さっぽろ」の理念のもと、市民、NPO、事業者、大学等のあらゆる方々と協働し、生物多様性の保全のため、札幌市の自然環境を保全するとともに、市民一人ひとりのライフスタイルの見直し等を進めていきます。



※1「札幌市版レッドリスト」とは

「レッドリスト」とは絶滅の危険度を科学的、客観的に評価してまとめた絶滅のおそれのある野生生物のリストのことを言います。

これは、札幌市が進める生物多様性の保全に必要な対策の基礎資料や、環境影響評価や各種施策における保全事業等にも活用され、公表することで生物多様性保全に対する意識の醸成を図るとともに、取組への意識向上を図る効果も期待されます。

▲札幌市版レッドリストのページ

※2 外来種とは

人間の活動に伴って、それまで生息していなかった場所に持ち込まれた生き物のことを言います。

外来生物法では、生態系、人の生命・身体、農林水産業に悪影響を及ぼす侵略的な外来種を「特定外来生物」として指定し、飼育、運搬、輸入等を規制しています。

また、北海道でも北海道生物の多様性の保全等に関する条例に基づき「指定外来種」を指定しており、適切な飼養等について定め、野外に放つこと等を禁止しています。

◀外来種にご注意を！のページ

ウチダザリガニ

オオハンゴンソウ

アズマヒキガエル

札幌市の取組

札幌市では、生物多様性さっぽろビジョンに基づき、生物多様性に対する理解の促進及び保全に向けた行動の実践を推進するため、様々な取組を進めています。

札幌市の生物多様性
PRキャラクター
カッコー先生

生物多様性の保全　自然環境の保全とライフスタイルの見直しを進めます。

さっぽろ生き物さがし2021

理解　協働　継承　活用

平成25年から毎年、市内の自然環境の変化の把握を目的に、市民参加型の生き物調査「さっぽろ生き物さがし」を実施しています。令和３年度は5月21日～9月30日にかけて、キアゲハやガマ等、札幌市の「指標種」を含む約30種を対象として開催しました。

432チーム2,185名から報告があり、11,946件のデータが得られました。調査によって得られたデータは札幌市の動植物データベースに登録し、生物多様性事業の施策に活用しています。

▲参加者から寄せられた生き物写真（人気投票によって選ばれた上位のもの）

▲令和３年度報告データのあった地区

オンラインワークショップ「親子で外来生物を知ろう」

生物多様性の普及啓発事業の一環として、8月の夏休み期間中に親子で外来生物について学べるオンラインワークショップを開催しました。

外来カエル、外来ほ乳類、外来昆虫、外来ザリガニの4つをテーマに、専門家と円山動物園職員が、札幌市内に生息する外来生物の生態、特徴、生態系への影響等について、実物や映像を交えて解説しました。

オンラインワークショップ「札幌のいきものを守るために語ろう。～市民参加による生物多様性保全のこれまでとこれから～」

生物多様性さっぽろビジョンの改定に向けた検討を行うにあたって、市民意見を聴取することを目的に、オンラインワークショップを開催しました。

参加者には基調講演を事前に視聴していただき、ワークショップ当日は、「どのようなきっかけがあれば、生物多様性の保全に関心をもつか」「どのような取組があれば参加したいと思うか」をテーマにグループワークを行いました。

令和3年度自然環境調査

理解 継承 活用

生物多様性さっぽろビジョンで定める5つのゾーンからモデル地区を選定し、それぞれのモデル地区において魚類・底生生物の調査を行いました。

定置網設置のようす

札幌市の生物多様性
PRキャラクター
カッコー先生

モデル地区と、生息が確認された主な希少種や指標種(※)

(※)指標種・・・札幌市内で見られる生態系を代表し、その環境の指標となる動植物

ヤチウグイ(10月撮影)
札幌市版レッドリストのNT(準絶滅危惧)。河川の水流の弱いところや湖沼等に生息する。

モクズガニ(6月撮影)
札幌市の指標種。
産卵のために海に下る。
川底や石の隙間を好む。

アメマス(6月撮影)
札幌市の指標種。
湖や河川の上流域を中心に生息する。体全体に白い斑点がある。

エゾホトケドジョウ(6月撮影)
札幌市の指標種。
湿地内を流れる水の冷たい水流等に多い。

サクラマス(ヤマメ)(10月撮影)
札幌市の指標種。
4月から河川を遡上し、秋に上流で産卵する。

生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク

理解 協働 継承 活用

平成25年10月、札幌市内の環境関連施設による「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」を立ち上げました。

このネットワークは、生物多様性保全の活動拠点として位置付ける19施設（令和4年10月現在）及び札幌市で構成し、拠点間の情報共有や連携・協働を進め、生物多様性に対する市民の理解促進と市内全体の生物多様性保全活動の活性化を図っています。

令和3年度は、「いきものつながりオンラインクイズラリー2021」を7月22日～8月17日まで開催し、285名の参加がありました。

活動拠点

札幌市水道記念館、札幌市円山動物園、札幌市下水道科学館、札幌市環境プラザ、札幌市百合が原緑のセンター、サッポロさとらんど、札幌市豊平公園緑のセンター、札幌市博物館活動センター、札幌市平岡樹芸センター、サンピアザ水族館、北海道博物館、札幌市豊平川さけ科学館、札幌市保養センター駒岡、札幌市青少年山の家、札幌市滝野自然学園、札幌市北方自然教育園、サッポロピリカコタン、札幌市定山渓自然の村、札幌市動物管理センター

活動拠点における取組

北海道博物館

北海道博物館は、北海道の自然・歴史・文化についての調査研究、関連する資料の収集・保存を行い、それらの成果を展示やイベントを通じて広く道民に伝える道立の総合博物館です。

総合展示（常設展）のうち「生き物たちの北海道」では、生物多様性と「生き物のつながり」について楽しみながら知ることができます。北海道の生物多様性に関わる様々な研究を実施しており、特に館の位置する野幌森林公園に関しては、その生物相および生態系の現況を明らかにするための「生物インベントリー調査」プロジェクトを継続しています。

そのほか、生物多様性をテーマとした企画展やイベントを開催しています。

▲北海道博物館のページ

豊平川さけ科学館

さけ科学館は、豊平川にサケを戻す市民運動がきっかけとなり、サケの回帰と札幌の水辺環境の普及啓発のために設立されました。1990年より継続しているサケの自然産卵調査により、190万人が暮らす大都市としては稀な自然産卵由来の野生魚が、人工ふ化放流魚よりも多くいることがわかりました。

将来の豊平川のサケにとっては、川で生まれた野生魚を増やすことが重要であることが認識され、河川管理者や研究者らと共に、放流数を減らし、産卵環境を改善する取り組み「札幌ワイルドサーモンプロジェクト」が進められています。

また、さけ科学館は、札幌の水辺環境保全の要として、希少種の保全活動や、外来生物の調査・駆除活動への協力も行っています。

▲豊平川さけ科学館のページ

生物多様性さっぽろ応援宣言

理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成27年9月より、生物多様性の保全に積極的に取り組んでいる企業・団体を、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体」として登録し、札幌市がその取組をＰＲして、企業・団体のみなさまの取組を支援する制度「生物多様性さっぽろ応援宣言」を開始しました。

令和4年9月時点で、133企業、25団体が登録しています。

生物多様性
さっぽろ応援宣言のページ▶

応援宣言企業 133企業

- 赤帽 シェルパ
- 赤帽田中館運送店
- 秋津道路株式会社
- 浅野建設株式会社
- 株式会社あづまや質店
- 株式会社アドバコム
- 株式会社アミノアップ
- 荒井建設株式会社 札幌支店
- イオン北海道株式会社
- 石上車輌株式会社
- 有限会社エースメンテック
- 株式会社 エコ・サッポロ
- 株式会社エコテック
- 株式会社エコニクス
- エコフィスジャパン株式会社
- 蝦夷工業株式会社
- FRSコーポレーション株式会社
- 株式会社FF
- 株式会社大庭組
- 岸本産業株式会社
- 株式会社キタデン
- 協友建設工業株式会社
- クボタ環境サービス株式会社北海道支店
- 株式会社熊谷組 北海道支店
- 株式会社建設環境研究所 札幌支店
- 株式会社建設技術研究所 北海道支社
- 株式会社耕電設 札幌支店
- 株式会社コクサク
- ことばサポーターなぐね
- 株式会社小林サイクル商会（オニキス札幌中央）
- 株式会社サジェコ
- 株式会社札幌今村電機
- 一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団
- 札幌大同印刷株式会社
- 公益財団法人札幌市公園緑化協会
- 株式会社さっぽろ自然調査館
- 株式会社札幌ドーム
- 株式会社札幌リフォームセンター
- 三兼建設工業株式会社
- システムサービス株式会社
- 株式会社 四宮造園
- 株式会社昭和陶業
- 株式会社水工技研
- 杉原建設株式会社
- 鈴木総合住設
- 株式会社鈴木東建
- 生活協同組合コープさっぽろ
- 株式会社セイショウ
- 正電テクノ
- 株式会社ゼタセグメント
- 株式会社セ・プラン
- 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 北海道ゾーン
- 株式会社ソフトガーデン
- 株式会社大伸
- 大同舗道株式会社
- 株式会社タイヤリサイクル北海道
- 株式会社 田中組
- 株式会社長大
- 株式会社ディスプレイセンター北創
- デリシャス株式会社
- 株式会社東亜エンジニアリング
- 株式会社東急コミュニティー 北海道支店
- 道邦工業株式会社
- 株式会社トーエイ
- 株式会社ドーコン
- 西松建設株式会社 札幌支店
- 株式会社 日水コン 北海道支所
- 日本航空株式会社
- 日本信号株式会社 北海道支店
- 日本緑化工株式会社
- 株式会社花の八幡屋
- 株式会社 日立ソリューションズ東日本
- 富士ゼロックスシステムサービス株式会社 北海道支店
- 株式会社プリプレス・センター
- 株式会社ホクスイ設計コンサル
- 株式会社北洋銀行
- 北海コンノ急送株式会社
- 北海道秋山造園株式会社
- 株式会社北海道アルバイト情報社
- 北海道衛生工業株式会社
- 株式会社北海道建設新聞社
- 北海道トンボ株式会社
- 北海道フーズ輸送株式会社
- マルコー開発株式会社
- 株式会社 丸周中村土木
- 丸昇 佐々木電気
- 丸富テント工業株式会社
- マルホン北英建設株式会社
- マルミプラス株式会社
- 株式会社ミスターブルー
- 株式会社宮田組石工
- ムトウ建設工業株式会社
- 明和工業株式会社
- 森山泰志税理士事務所
- 安田興業株式会社
- 雪印種苗株式会社
- 雪印メグミルク株式会社
- ユニオンデーターシステム株式会社
- 株式会社ユニコロン
- 横浜植木株式会社 北海道支店
- 株式会社リベース
- 株式会社ローソン
- 札幌新聞輸送株式会社
- 北土建設株式会社
- 丸高北進建設株式会社
- 株式会社水章工業
- 株式会社北海道造園コンサルタント
- 共創技建株式会社
- 勇建設株式会社
- 株式会社カズサッポロ
- 合同会社小林荷役
- 北双建設株式会社
- 株式会社エクセル
- 株式会社古田配管工業所
- 東急建設株式会社 札幌支店
- 株式会社北海メンテナンス
- 大真エンジニアリング株式会社
- ライラック興業株式会社
- 株式会社新生
- 道興建設株式会社
- 一般財団法人北海道歴史文化財団
- 太陽運輸株式会社
- 株式会社和らいふ
- 橋本電気工事株式会社
- 北海道システム開発株式会社
- 株式会社AIR GLOBAL AGENCY JAPAN
- 株式会社一宝
- エア・ウォーター北海道株式会社
- 株式会社HYK
- 株式会社climb
- 株式会社メディアサイエンス
- 株式会社福山倉庫
- 北陽道路工業株式会社

応援宣言団体 25団体

- 旭山記念公園市民活動協議会
- NPO法人エゾシカネット
- NPO法人カラカネイトトンボを守る会 -あいあい自然ネットワーク-
- NPO法人札幌歩こう会
- NPO法人札幌カラス研究会
- サッポロさとらんど
- (公社)札幌消費者協会「北海道エゾシカ倶楽部」
- 札幌南ふゆみずたんぼの会
- 札幌ワイルドサーモンプロジェクト
- 札幌市立定山渓中学校
- 手稲さと川探検隊
- 八紘学園 耕機科
- 地縁団体 藤ヶ丘西町内会
- 北海道希少生物調査会
- 北海道グリーン購入ネットワーク
- 北海道自然観察協議会
- 公益財団法人北海道自然体験学習財団
- 北海道シマフクロウの会
- NPO法人北海道森林ボランティア協会
- 北海道ボランティア・レンジャー協議会
- 認定NPO法人ポロクル
- 簾舞国蝶オオムラサキ保存会
- NPO法人藻岩山きのこ観察会
- 公益社団法人北海道森と緑の会
- 一般社団法人北のワニ舎

登録団体

認定NPO法人ポロクル

認定NPO法人ポロクルは、2011年よりシェアサイクル「ポロクル」を通じて自転車利用のルール・マナー啓発活動や、環境負荷軽減に関する活動を行ってまいりました。

日常的に行っている地域の美化活動のほか2021年度からは海洋ごみ問題にも取り組み、シェアサイクル利用者参加型の「ごみゼロごみ拾いチャレンジ」イベントやポートを活用したゴミ袋の設置等を実施しています。

今後も様々な団体や企業等と連携し、CO_2排出が少なく環境に優しい移動の提案や、環境に配慮した活動等、生物多様性の保全に取り組んでまいります。

認定
NPO法人
ポロクル
のページ▶

登録企業

株式会社HYK

「もったいない、を形に。」をテーマに、廃棄野菜（もったいない）を減らすため、自社で乾燥パウダー化して、マドレーヌ（形）を製作しています。

地産地消にこだわり、フードマイレージを削減し、リフューズ、リデュース、さらに賞味期限を延ばす努力でフードロスを削減しています。

産学連携で資源の大切さを伝え、学生と米粉を活用した商品を共同開発して、社会貢献につなげます。未来の為に、今出来る事を、今出来る範囲で、少しずつ「いいこと思いついた。」を形にしていきます。

株式会社HYKのページ

株式会社福山倉庫

明治24年の創業以来、倉庫業・不動産賃貸業を通して地域社会への貢献を目指してまいりました。

私たちは美しい自然環境を次世代に残すための活動としてエコカーの導入、デマンド監視装置によるエネルギー使用量の削減、省エネ・節水機器の導入、近隣の清掃・緑化活動、環境に対する社員教育等に取り組んでいます。これからも丁寧な不動産物件・倉庫物件の維持管理を通して地域の発展と美しい街並みを形成することに寄与してまいります。

▲株式会社福山倉庫のページ

エア・ウォーター北海道株式会社

エア・ウォーター北海道は、地元の小学校と連携し、生物の多様性を守る課外事業の取り組みを行います。

また、エネルギーガスや酸素の供給をはじめとするエア・ウォーターグループの多様な技術を用い、サーモンの陸上養殖に取り組んでいます。

室内の管理された環境で行う陸上養殖は、生態系へ影響を及ぼしません。

自然状況に左右されにくく環境負荷の低い陸上養殖により、漁獲量減少という課題にも取り組みます。

エア・ウォーター北海道株式会社のページ

その他の札幌市の取組

札幌市では生物多様性の保全につながる様々な取組を行っています。右の二次元コードより、札幌市ホームページの「生物多様性の保全」ページからご覧ください。

▲札幌市の取組一覧のページ

地域産業振興課
環境（エネルギー）技術・製品開発支援事業　活用

環境（エネルギー）関連産業の活性化や市民生活の向上を目的として、環境（エネルギー）分野の新製品・新技術の開発に取り組む企業に対する補助を実施しています。令和3年度までで、延べ33件の製品・技術開発事業、3件の販路拡大事業に対して補助を実施しております。

環境（エネルギー）分野の研究開発は、実用化まで時間を要する困難な取組ではありますが、補助事業を通して環境（エネルギー）分野の取組を活性化し、生物多様性保全に貢献しています。

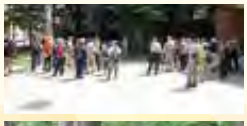
▲環境（エネルギー）技術・製品開発支援事業のページ

みどりの管理課
外来種除去ボランティア（円山公園）　理解　継承

円山公園は、大都市にあって極めて貴重な自然を残していることから、自然観察や散策の場として、多くの市民に親しまれています。

一般社団法人北海道自然保護協会と連携し、特定外来生物であるオオハンゴンソウや外来種であるゴボウ、イワミツバ等の生態系への影響が大きい外来植物の除去活動をボランティアの方々と協働で行っています。

在来の生態系を守り、身の回りの自然を次世代へ受け渡していくためにも、今後も継続して外来植物の除去活動に取り組んでいきます。



▲円山公園のページ

生物多様性 Q&A

Q 「30by30」って何？

A 生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で決定される、愛知目標の次の生物多様性の世界目標「ポスト2020生物多様性枠組」案の主要な目標として検討されている、2030年までに陸域の30%と海域の30%の保全・保護を目指す目標のことです。2021年6月のG7サミットにおいて、G7国は世界目標の決定に先駆けて30by30を進めることに合意しました。

生物多様性さっぽろビジョンの進行管理

生物多様性さっぽろビジョンでは、推進する施策の4つの柱（「理解する」「協働する」「継承する」「活用する」）ごとに成果指標を定めて、進行管理を行っています。

■指標及び進捗状況

施策の柱	指　標	基準値（平成23年度）	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値（令和4年度）
理解する	生物多様性の理解度（意味を知っている人の割合）	33.1%	36.6%	33.7%	34.8%	28.6%	33.5%	37.2%	35.1%	34.2%	60%
協働する	生物多様性保全活動に参加したり、取り組んでいる市民・事業者の割合	市民：5.0% 事業者：40.4%	市民：— 事業者：64.3%	市民：— 事業者：66.6%	市民：— 事業者：64.5%	市民：3.1% 事業者：58.9%	市民：— 事業者：51.1%	市民：— 事業者：46.6%	市民：3.3% 事業者：53.6%	市民：— 事業者：45.7%	市民：10% 事業者：60% ※1
継承する	主な生息・生育地における指標種の生息状況	—	—	—	—	—	—	—	○	—	生息し続けていること、又は増えていること
活用する	自然と積極的に触れ合っている市民の割合	24.2%	—	—	—	27.0%	—	—	27.4%	—	35%
	市民の地産地消や環境配慮商品の利用促進	地産地消：65.7% 環境配慮商品：27.4%	—	—	—	地産地消：60.7% 環境配慮商品：18.1%	—	—	地産地消：67.2% 環境配慮商品：19.6%	—	地産地消：75% 環境配慮商品：50%
	事業者の原材料調達時の配慮の促進	30.00%	69.4%	44.7%	50.0%	59.4%	52.6%	50.0%	52.2%	45.4%	50%

※1「生物多様性保全活動に取り組んでいる事業者の割合」（協働する）については、平成27年度の目標値。
※2「主な生息・生育地における指標種の生息状況」（継承する）については、選定した指標種のモニタリング調査により生息状況を把握する予定。

目標値に対する評価

各成果指標について、企業アンケートにより達成度を確認しました。

「生物多様性の理解度」（理解する）は34.2%と目標値を大幅に下回りました。また、「生物多様性保全活動に参加したり、取り組んでいる市民・事業者の割合」（協働する）は事業者45.7%と前年度より減少し、目標値に届きませんでした。「事業者の原材料調達時の配慮の促進」（活用する）についても、45.4%と前年度より減少し、目標値に届きませんでした。

現在の成果指標については、令和2年度を目標年次として定めていたことから、生物多様性さっぽろビジョンの改定までは現在の成果指標を暫定的に確認していくこととし、生物多様性さっぽろビジョンの改定作業にあたり、今後の指標及び目標値について併せて検討していきます。

今後の取組

今後は、多くの市民が生物多様性の理解を深める機会を創出するとともに、よりわかりやすく伝える工夫をしていきます。また、生物多様性さっぽろビジョンの改定に向けた検討を進め、生物多様性の保全・持続可能な利用に向けた実践行動として、外来種対策や希少種の保全の取組も併せて行っていきます。

●編集・発行　令和4年（2022年）10月
札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課
〒060-8611　札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階
TEL 011-211-2879　FAX 011-218-5108

札幌市　生物多様性　検索　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/

カッコー先生公式Twitterアカウントはこちらから→

Think Green
SAPPORO
さっぽろ市
02-J02-22-1898
R4-2-1227
VEGETABLE OIL INK
R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。